復興 被災地のいま

～災害公営住宅を取り巻く地域コミュニティづくりへの取組み～

気仙沼市社会福祉協議会

気仙沼市内の災害公営住宅第1号として、被災した南気仙沼小学校跡地に建った市営南郷住宅へ、ようやく163世帯の入居が開始となったのは、今年の1月末のことでした。

気仙沼市社協では、平成26年度当初から宮城県社協とタイアップし、「災害公営住宅を含む地域コミュニティ構築支援事業」を南郷地区で進めてきました。これは、災害公営住宅建設に伴い、多くの応急仮設及びみなし仮設居住者が入居していく過程で、既存の自治会（地域コミュニティ）の中に、住宅入居者（新居住者）がスムーズに溶け込めるように、また、持続可能な新たな地域コミュニティ形成のために、地域全体での助け合いの醸成を図ることを目的とした事業です。

事業を進めるにあたって、地元自治会や地区社協の関係者に集まっていただき、事業内容の理解を得ることから始めました。その際に、地元住民が災害公営住宅に対し、具体的な様子が見えないが故の漠然とした不安を抱いていることを知りました。そこで、南郷1区の夏祭りに入居予定者を招き、「入居者歓迎席」を設けて交流を図りました。また、建築中の災害公営住宅が目の前にそびえる民家を会場にお借りして、地域住民勉強会を開催しました。宮城県社協の復興支援福祉アドバイザーを講師に、過去の被災地である阪神・淡路や新潟そして奥尻の今の状況を知ることで、これからの南郷地区をどうすべきかの気づきの場となりました。

▲南郷勉強会　これから自分たちの地区をどうすべきかの話し合いが行われました

気仙沼市とは、3回にわたる災害公営住宅入居者支援会議に出席し、関係各課からの情報とモデル事業を共有し、今後の支援の方向性を協議しました。このことがその後南郷地区災害公営住宅住民説明会に合わせて市と共催した、5回に及ぶ住民交流会につながりました。交流会では、自治会長から歓迎メッセージをいただきながら被災者支援で入居予定者と顔なじみになっている生活支援相談員が、入居者同士や自治会長、地元関係者へ、さらには南郷住宅に配置となるLSA（生活援助員）へのつなぎ役を務めました。市の説明会後の交流会のセット方式や地元住民代表参加は、その後、他の地区にも波及し慣例となっています。

▲南郷住宅入居歓迎交流会

住宅住民が少し落ちついた6月に、南郷1区、2区自治会の実行委員58名とNPO等外部支援者による入居者歓迎交流会が住宅内の南郷コミュニティセンターで開催され、県社協や市社協職員、生活支援相談員、LSAもお手伝いさせていただきました。

事業開始の昨年は「南郷1区自治会夏祭り」での入居者歓迎席の設置、今年は「南郷1区2区自治会合同入居歓迎交流会」、そして、来年は「南郷1区2区と7月に自治会設立の3区との合同夏祭り」の開催が交流会の打ち上げの席で約束され、「社協さんも是非参加を」とのお言葉をいただきました。

南郷地域全体での助け合いの醸成が確実に始まったことを実感した1日でした。（寄稿）

INFORMATION 情報掲示板

理事変更のお知らせ

○退任（平成27年5月31日）

理事　井口　經明氏
理事　髙橋　興治氏
監事　吉村　克夫氏

○就任（平成27年6月1日）

理事　浅野　元氏
理事　吉田　克哉氏
監事　大坪　富雄氏

温かい真心をありがとうございます

下記の方々から，本会に寄付金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。
(平成27年6月現在)

平成27年6月9日 株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために …… 59,493円

平成27年7月7日株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために …… 55,553円

オススメ製品のご紹介

NPO法人みやぎセルプ協働受注センターでは、働く障害者の方々を応援しています！
URL　http://www.miyagi-selp.org
http://www.facebook.com/miyagiselp

県内の障害者就労支援事業所で作るオススメの製品を紹介します。

◆ 向日葵　手作り弁当

①月・水曜日
向日葵特製
ポークカレー又は
シーフードカレー　350円
ドライカレー　550円

ドライカレー

シーフードカレー

②火・木・金曜日
日替わり弁当　500円

日替弁当

●ひとつひとつ手作りして、利用者さんが丁寧に盛り付けたお弁当です。是非一度、ご賞味下さい。
●ご予算に応じての特注弁当も可能です。お気軽にご相談下さい。
●1個からでも配達しておりますので、配達地域についてもお気軽にお問い合わせ下さい。

社会福祉法人　ふれあいの森　多機能型事業所　向日葵ファミリー
〒981-1102　宮城県仙台市太白区袋原5丁目17－33　TEL／022-741-2888　FAX／022-741-3725
himawari.family@cotton.ocn.ne.jp

経営者の皆様へ

ジョブ・カード制度の有期実習型訓練の活用のお勧め

～自社のニーズに合った人材を育成できます！～

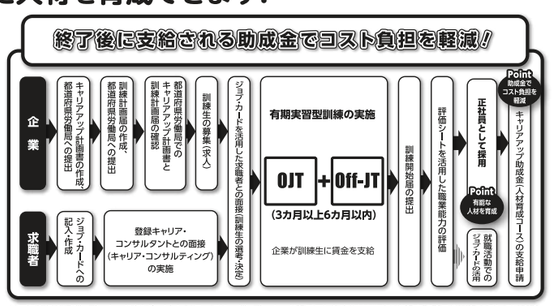
ジョブ・カード

求職者の職業能力を証明するA4判の大きさの4種類のシート（①履歴シート、②職務経歴シート、③キャリアシート、④評価シート）です。履歴書などにはない求職者に関する詳細な情報が記載されているので、短時間の採用面接では分からない求職者の職業能力やレベルなどを客観的に評価できます。

ジョブ・カード制度

ジョブカードを活用したOff-JT（座学等）とOJT（実習）を効果的に組み合わせた有期実習型訓練を通じ、有能な人材を育成したい企業と正社員の経験が少ない求職者とのマッチングを促進する国の制度です。

訓練を実施する企業では、訓練期間を通じて訓練生の適性や職業能力などを判断したうえ、正社員として継続雇用できますので、採用時のミスマッチや早期離職のリスクを軽減できます。加えて、一定の要件を満たしている場合は、訓練の終了後に、国から助成金が支給されますので、訓練の実施に要するコスト負担を軽減できます。



全国各地の地域ジョブ・カード（サポート）センターでは、ジョブ・カードを活用した有期実習型訓練を実施する企業を支援しています。

宮城県地域ジョブ・カードセンター　〒980-8414 仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所2階　TEL:022-212-4777　FAX:022-211-0720

日本商工会議所 中央ジョブ・カードセンター
各地商工会議所 地域ジョブ・カード（サポート）センター　URL http://www.jc-center.jp　詳細はwebで　ジョブ・カード制度　検索

厚生労働省　URL http://www.mhlw.go.jp